

【平成 25 年度・後期学期・ミクロ経済学 II・課題 5】

☆ 締め切り:平成 26 年 1 月 21 日 期末試験開始前に提出(試験教室入室時に提出のこと)

【問】ある独占市場において、独占企業が直面する需要関数と、この企業の総費用関数が次のように与えられている。この場合について、後の設問に答えなさい。設問の (1) ~ (6) について、図を作成し、解答の意味するところをこれに描き込むこと。

$$Q_d = 30 - 0.2P$$

$$TC = Q^2 + 26Q + 7.5$$

- (1) この企業が直面する総収入関数を求め、限界収入関数も求めなさい。
- (2) 独占企業が利潤際高する場合の一般的な利潤最大化の条件を示し、この企業について、これを示しなさい。
- (3) (2) より、この独占企業が産出する「独占産出量」を求め、それに対応する「独占価格」を求めなさい。
- (4) (3) で求めた独占企業の価格と数量につて、この点の需要の価格弾力性を求めなさい。
求めた、価格弾力性をもとに、需要が弾力的か非弾力的か判断すること。
- (5) 仮に、この市場が、(完全競争市場により) 効率的に供給が行われた場合、この市場における市場均衡の均衡価格と均衡数量を求めなさい。
- (6) (5) で求めた、効率的な市場の均衡点において、需要の点の価格弾力性を求めなさい。
- (7) (3) で求めた独占的市場において、消費者余剰、生産者余剰、そして、死荷重を求めなさい。